

第4次茨木市男女共同参画計画策定に係る意識調査等について

1. 計画策定のスケジュール



2. 調査の種類別対象者・調査方法等

調査の種類	対象者	調査方法	予定実施時期
市民意識調査	18歳以上市民 2,000人を住民基本台帳から無作為抽出	郵送により配布 郵送回収/WEB回収併用	10月
大学生意識調査	市内大学に通う大学生 ※市内大学に協力を依頼し、協力を得られた大学生を対象に意識調査を実施(令和3年度実施時には約300人が回答)	大学を通じて学生に調査協力文書を配布 WEBにより回収	10月
小・中学生意識調査	小学5年生 男女約500人 中学3年生 男女約500人 ※それぞれ協力依頼校を選定	学校を通じて配布 WEBにより回収	10月
事業所意識調査	市内300事業所	郵送により配布 郵送回収/WEB回収併用	10月

3. 市民意識調査の概要

(1) 調査項目一覧

【今回の調査項目一覧 一般市民用】オレンジ色は前回との比較可能設問、水色は府・国との比較可能設問(色がない項目は選択肢が異なるため比較不可)

	項目(現行計画の指標項目は★)	今回 調査案	大阪府 調査	国調査	参考資料	設問の意図
問 1	男女の地位の平等観 ★(現行計画の指標:賃金や待遇、社会の慣習やしきたり、自治会などの地域活動、社会全体)	継続	●	●		社会の各分野における男女の地位の平等感の変化を把握する
問 2	★性別役割分担意識	継続	●	●		固定的性別役割分担意識の変化を把握する
問 3-1	性別役割分担に賛成する理由	継続	●	●		性別役割分担に賛成する理由を把握する
問 3-2	性別役割分担に反対する理由	継続	●	●		性別役割分担に反対する理由を把握する
問 4	家庭生活における役割分担についての考え方	継続	●			家庭における性別役割分担意識を把握する
問 5	★女性・男性であることで生きづらさを感じたことの有無	継続				ジェンダー意識の押しつけによる生きづらさの有無を把握する
問 6	生きづらさを感じた内容	継続				生きづらさを感じる事柄を把握する
問7	子育てについての考え方	継続				性別にかかわる子育ての意識を把握する
問8	学校で男女平等を進めるうえで重要な取組	継続				学校における男女平等教育で重視することを把握する
問9	★生活の中で優先したいこと、していること	継続	●			ワーク・ライフ・バランスの理想と現実を把握する
問 10	女性の働き方についての考え方	継続	●			女性が仕事と家庭を両立することに対する意識を把握する
問 11	女性の働き方の実際	継続	●			実際に女性が両立している(したい)かどうかを把握する
問 12	男性が家事、子育てに積極的に参加していく社会をつくるために必要なこと	継続	●	●		男性が家事、子育て等に参加するために必要なことを把握する
問 13	防災に関して必要な取組	継続				防災分野における男女共同参画に必要な取組を把握する

	項目(現行計画の指標項目は★)	今回 調査案	大阪府 調査	国調査	参考資料	設問の意図
問 14	職場や学校、地域におけるハラスメント経験の有無	継続				セクハラ経験の有無を場面ごとに把握する
問 15	配偶者・パートナー・恋人間で暴力だと思うこと	継続	●			DV の認識を把握する
問 16	交際相手の有無	継続				問 19 回答者のオミット項目
問 17	交際相手からの暴力の経験(交際相手がいる人)	継続	●			デートDVの被害経験を把握する
問 18	★デートDVの認知度	継続				デートDVの言葉の認知度を把握する
問 19	配偶者・パートナーの有無	継続	●	●		問 22 回答者のオミット項目
問 20	配偶者・パートナーからの暴力の経験(配偶者・パートナーがいる人)	継続	●			DV の被害経験を把握する
問 21	★DV を受けた際の相談状況	継続	●			DV 被害の相談状況を把握する
問 22	DV を相談しなかった理由	継続	●			相談しなかった人の理由を把握する
問 23	性的マイノリティに関する認知	継続				性的マイノリティに関する認知を把握する
問 24	性自認・性的指向に悩んだ経験の有無	継続				SOGI の意識を把握する
問 25	性的マイノリティにとって生活しづらい社会だと思うか	継続				性的マイノリティの視点からみた社会のあり方に対する意識を把握する
問 26	性的マイノリティが生活しづらい内容	継続				
問 27	市の性的マイノリティ支援施策の認知	継続				市の施策の認知を把握し、周知につなげる
問 28	ローズWAMの認知と利用経験の有無	継続				ローズ WAM の認知を把握し、周知につなげる
問 29	ローズWAMの利用内容(利用したことがある人)	継続				ローズ WAM の利用実態を把握する
問 30	男女共同参画の進展に関する認識	継続				男女共同参画の進展度の評価を把握する

	項目(現行計画の指標項目は★)	今回調査案	大阪府調査	国調査	参考資料	設問の意図
問 31	困難な経験の有無	新規			厚労省「あなたのミカタ」セルフチェック	潜在的な困難を抱える人の実態を把握する
問 32	困難な経験についての相談の有無	新規		●※	※R7 厚労省「あなたのミカタ」実態調査(対象は女性のみ)	支援機関への接続率を把握する
問 33	相談しなかった理由	新規		●※	※R7 厚労省「あなたのミカタ」実態調査(対象は女性のみ)	支援につなげられない障壁を特定する
問 34	困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の認知	新規				支援法の認知度を把握する
問 35	困難な問題を抱える女性が支援につながりやすい体制をつくるための取組	新規				当事者目線での政策ニーズを収集する
問 36	進路選択に影響を与えるもの(男性は理学部・工学部、女性は薬学部・看護学部など)	新規		●		進路選択のジェンダー影響を把握する
問 37	アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)という言葉の認知	新規		●※	内閣府 性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関する調査研究(令和4年度)※質問文、選択肢の表現は異なります	概念の社会的な認知度・浸透度を測る
問 38	性別に関する無意識の思い込みを感じた場面	新規		●※	内閣府 性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関する調査研究(令和4年度)※質問文、選択肢の表現は異なります	バイアスが起きやすい場面を特定する
F1	性別	継続	●	●		分析軸項目
F2	年齢	継続	●	●		
F3	家族構成	継続	●			

	項目(現行計画の指標項目は★)	今回 調査案	大阪府 調査	国調査	参考資料	設問の意図
F4 F4-1	子どもの人数および末子の年齢	継続	●	●		
F5	就労形態	継続	●	●		
F5-1	職種	継続				
F6	配偶者・パートナーの就労の有無	継続	●※	●※	※いずれも結婚しているかの みの質問	

4. 大学生意識調査の概要

(1) 調査項目一覧

【今回の調査項目一覧 大学生用】

項目	問	前回調査	設問の意図
男女の地位の平等感	問 1	●	男女平等感、役割分担意識に対する若年層の意識を把握する
性別役割分担意識	問 2	●	
性別役割分担に賛成する理由	問 3-1	●	
性別役割分担に反対する理由	問 3-2	●	
女性の働き方についての考え方	問4	●	女性の働き方に対する若年層の意識を把握する
アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)という言葉の認知	問5	新規	概念の社会的な認知度・浸透度を測る
将来の仕事や進路を考えると感じたこと	問6	新規	進路選択のジェンダー影響を把握する
セクシュアル・ハラスメントの経験	問7	●	セクシュアル・ハラスメントの経験の有無を把握する
夫婦・恋人間で暴力だと思うこと	問8	●	DV の認知を把握する
交際相手の有無	問9	●	問8回答者のオミット項目
交際相手からの暴力の経験(交際相手がいる人)	問 10	●	デートDVの被害経験を把握する
被害を受けた場合の相談の有無	問 11	●	相談の有無と相談先を把握する
悩みや困りごとの相談先	問 12	●	悩みや困りごとの相談先を把握する
性的マイノリティに関する認知	問 13	●	性的マイノリティに関する認知を把握する
性自認・性的指向に悩んだ経験の有無	問 14	●	SOGI の意識を把握する
性的マイノリティにとって生活しづらい社会だと思うか	問 15	●	性的マイノリティの視点からみた社会のあり方に対する意識を把握する
性的マイノリティが生活しづらい内容	問 16	●	
市の性的マイノリティ支援施策の認知	問 17	●	市の施策の認知を把握し、周知につなげる
男女共生センター ローズWAMの認知度	問 18	●	ローズ WAM の認知を把握し、周知につなげる

項目	問	前回調査	設問の意図
困難な経験の有無	問 19	新規	
困難な経験についての相談の有無	問 20	新規	
相談しなかった理由	問 21	新規	
困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の認知	問 22	新規	
性別	F1		分析軸項目
年齢	F2		対象とする若年層であるかの確認項目
学部	F3		

5. 小中学生意識調査の概要

(1) 調査項目一覧

【今回の調査項目一覧 小・中学生用】

項目	今回調査項目案		前回調査	設問の意図
	小学生	中学生		
家で行っている手伝いの内容	問 1		●	家庭生活へのかかわりの状況を把握する
誰が家事・子育て・生活費をかせぐ仕事をするのが一番良いと思うか	問 2		●	家庭における性別役割分担意識を把握する
性別役割分担意識		問 3	●	固定的性別役割分担意識を大人と比較する
学校生活で感じること	問 3	問 4	●	学校生活におけるジェンダー意識を把握する
学校などで勉強した内容	問 4	問 5	●	男女(ジェンダー)平等教育の浸透度を把握する
「男だから〇〇」や「女だから〇〇」と言われた経験の有無	問 5	問 6	●	ジェンダー・バイアスの押しつけの経験を把握する
「男だから〇〇」や「女だから〇〇」と言われた原因	問 5-1	問 6-1	●	ジェンダー・バイアスの押しつけがある場面を把握する
「男だから〇〇」や「女だから〇〇」と言われた時の気持ち	問 5-2	問 6-2	●	ジェンダー・バイアスの押しつけに対する子どもの受け止め方を把握する
「男だから〇〇」や「女だから〇〇」と言われた相手	問 5-3	問 6-3	●	ジェンダー・バイアスの押しつけがある周囲の大人を把握する
将来の仕事や進路を考えるとときに感じたこと		問 7	新規	進路選択のジェンダー影響を把握する
「デートDV」の認知度		問 8	●	デートDVの認知度を把握する
デートDVにあたる行為の認識		問 9	●	暴力に対する認識を把握する
性的マイノリティの認知度		問 10	●	性的マイノリティの認知度を把握する
悩みや心配ごとの相談相手	問 6	問 11	●	悩みの相談相手を把握する
男女共生センター ローズWAMの認知度		問 12	●	ローズWAMの認知度を把握する
男女共生センター ローズWAMの利用内容		問 12-1	●	ローズWAMの利用実態を把握する
性別	問 7	問 13	●	分析軸項目

6. 事業所意識調査の概要

(1) 調査項目一覧

【今回の調査項目一覧 事業所用】

項目	問	前回 ヒアリング 類似項目	参考資料	設問の意図
業種	問1	●		事業所の状況等の把握
法人形態	問2			事業所の状況等の把握
事業形態	問3			事業所の状況等の把握
従業員数(正規・非正規別男女人数)	問4	●		事業所の状況等の把握
管理職人数(部長以上・課長・係長別男女人数)	問5			事業所の状況等の把握
女性活躍推進の取組	問6	●		現在どのような積極的改善措置を講じているかを把握する
取組の結果に対する成果	問7			実際に効果をあげているかを検証する
女性活躍推進への問題	問8	●		女性活躍推進における現場の障壁や課題を収集する
女性活躍推進法における一般事業主行動計画の策定	問9		※H30 厚生労働省 女性の活躍推進等に関するアンケート	一般事業主行動計画の策定状況を確認する
直近1年度における育児休業・介護休業の取得状況(対象者の有無、取得者の人数)	問 10	●	※R5 内閣府 仕事と生活の調和推進のための調査研究～「令和モデル」における全ての人が活躍できる働き方と仕事時間に関する調査～	育児・介護休業の取得における男女格差の実態を数値で把握する
男性の育児休業取得に関する課題	問11			男性の育児休業取得を阻む要因を明確にする

項目	問	前回 ヒアリング 類似項目	参考資料	設問の意図
ワーク・ライフ・バランス推進のための取組状況	問12		※R5 内閣府 仕事と生活の調和推進のための調査研究～「令和モデル」における全ての人が活躍できる働き方と仕事時間に関する調査～ ※選択肢は異なります。	ワーク・ライフ・バランスの取組状況を把握する
取組に対する成果	問13		※R5 内閣府 仕事と生活の調和推進のための調査研究～「令和モデル」における全ての人が活躍できる働き方と仕事時間に関する調査～ ※選択肢は一部異なります。	実施したことで得られた成果を把握する
ワーク・ライフ・バランス推進に関する課題	問 14		※R5 内閣府 仕事と生活の調和推進のための調査研究～「令和モデル」における全ての人が活躍できる働き方と仕事時間に関する調査～ ※選択肢は一部異なります。	ワーク・ライフ・バランス推進における現場の障壁や課題を収集する
事業所の状況(代表は男性が担っている、意思決定機関は男性が大半を占めるなど)	問15		※内閣府「職場のセルフチェックシート(試作版)」	事業所におけるジェンダー不均衡の実態を可視化する
直近3年間のハラスメントに関する相談・申告の有無	問 16		※R5厚生労働省 職場のハラスメント実態調査	ハラスメントの発生実態と相談窓口の機能状況を確認する
ハラスメントの防止・解決のための取組	問 17	●	※R5厚生労働省 職場のハラスメント実態調査	ハラスメント対策の実施状況と取組の充実度を把握する
性的マイノリティに対する職場での人権問題の認知	問 18			職場における性的マイノリティの人権問題の認知を把握する
性的マイノリティへの配慮に関する取組	問 19			性的マイノリティへの配慮の取組実施状況を把握する
市の取組の認知	問 20			茨木市施策の認知を把握する
ジェンダー平等社会や働きやすい職場づくりへのご意見・ご要望	問 21			定型質問では拾えない現場の生の声や要望を収集する